



【高校生看護体験 記事3面】

目 次

●自動再来受付機と 診察番号表示システムの導入	2
●話題の広場	
高校生看護体験	3
言語聴覚の日	3
●ねっとわーく	
飯田病院附属阿智診療所	4
山岡整形外科	5
●床ずれラックンのご案内	4~5
●受けていますか？「人間ドック」	6
●ステントグラフト留置術	7
●情報カプセル	8
服用時間を守りましょう	
●職場紹介	8
褥瘡対策チーム	
●新任医師の紹介	8

飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康を支え信頼される医療を実践します

飯田市立病院 基本方針

- ①私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- ②私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、患者さんの立場に立った医療を実践します
- ③私たちは、地域の保健、医療、福祉機関と密接に連携します
- ④私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上と、職員が誇りややりがいの持てる職場づくりを行います
- ⑤私たちは、公共性と経済性を考慮し、健全な経営に努めます

飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、誠意 熱意 創意をもって医療を実践します

11月1日(木)から 自動再来受付機と診察番号表示システム を導入します

●再診で予約のある方の受付方法が変わります

飯田市立病院では、番号呼び出しによるプライバシーの保護と、再診受付・検査の流れをスムーズにするため、「自動再来受付機」を設置します。

11月1日から、再診で予約のある方は、ご自身の診察券を自動再来受付機に通して受付してください。

- 診察券を必ずお持ちください。
- 自動再来受付機は、1階総合案内の近くに3台設置します。
- 受付開始は、平日 午前8時00分からです。
- 診察券を受付機に入れ、画面の表示に従って操作してください。
- 自動再来受付機から出された受付表に記載された当日の予定に沿って、検査や診察等の窓口にお進みください。
- 保険証の確認は、診察までの待ち時間に各科の窓口にて提示をお願いします。

※初診と予約の無い受診の場合は、中央受付**1**番又は**2**番で、8時30分から11時30分までに受け付けてください。

※診察券を紛失又は破損した場合は、有償(100円)で再発行します。



自動再来受付機

●診察室等への呼び込みを受付番号でご案内します



プライバシーの保護のため、お名前ではなく受付番号でお呼びします。受付番号は、受付票に印字されています。

各科の受付窓口付近に設置されたディスプレイにご自分の受付番号が表示されましたら、中待ち（診察室）へお入りください。

※診察は受付順ではなく、予約時間の順番で行っています。



7月27日、8月3日に高校生看護体験を行いました。今年度も多くの高校生の皆さんに参加していただき、DMAT隊員の講義やトリアージ体験をしたり、看護師の日常業務の看護体験や手術室・周産期センター・救急救命センターなどの部署見学をしました。看護体験では高校生の皆さんが緊張しながらも楽しそうに患者様へのケアをしている姿が印象的でした。

高校生の皆さんからは「患者さんと話をすることができてよかった。」や、「病院は医師と看護師だけでなく他にも様々な人が協力していることが分かった。」等の感想をいただきました。今回の看護体験では看護師だけでなく理学療法士や放射線技師を志している方も参加しており、「病院の雰囲気を知ることができてよかった。」と話していました。

高校生は勉強、部活など忙しいと思いますが、自分の目標を持ち続け、夢をかなえていただきたいと思います。そして、将来高校生の皆さんと一緒に働くことができたらうれしく思います。

言語聴覚の日

9/1

言語聴覚士をご存知ですか？当院ではリハビリテーション科に6名の言語聴覚士が働いています。

言語聴覚士は言語聴覚障害（脳卒中後のコミュニケーションや発達上のことばの障害など）や摂食・嚥下（飲み込み）に障害のある方々に指導・訓練などの専門的サービスを提供し、障害の軽減を図るとともに、より質の高い社会生活の実現に向け支援していく職種です。当院では、お子さんの言葉の発達に対しても支援しています。

話す事も食べることも日常当たり前のように行なっていて、それがうまくいかなくなることは想像しにくいですが、とてもつらいものです。少しでも楽になるように、一緒に練習したり、工夫を提案させていただきます。お困りの方はご相談ください。

また、言語聴覚士になりたいとお考えの方もお気軽にご相談ください。

リハビリテーション科 担当：清水まで

毎年9月1日は

言語聴覚の日

言語聴覚士は
話す 聞く 食べるの
専門家です！



言葉によるコミュニケーションや
飲み込みに問題がある方々の
日常をお手伝いし
よりよい生活を送ることができるよう
全力でサポートする仕事です！



コミュニケーションや食べることでお困りの方は
言語聴覚士までご相談ください！



飯田病院附属阿智診療所

(阿智村駒場)



何でもお声掛けください

社会医療法人栗山会 飯田病院附属阿智診療所 診療所長 千葉 隆一

飯田病院附属阿智診療所は、阿智村駒場の伊藤医院を受け継ぐ形で1987(昭和62)年8月に開院致しました。いわゆる飯田下伊那西部地区の地域医療ニーズに応えるべく栗山会のサテライト機関として発足したのです。初代診療所長は千葉恭医師(現栗山会会長)です。患者さんが増えるにつれ、駐車場確保などの理由から、1990(平成2)年7月に阿智村役場横の現在地に新築移転しました。1994(平成6)年には診療所長に原重樹医師(現飯田病院院長)が就任致しております。そして時は降って2015(平成27)年からは不肖千葉隆一が三

代目の診療所長を拜命致しております。三代目で潰れないよう、栗山会の理念でもある「仁のこころ」、即ち「家族を見るような慈しみの目」で診療に携わりたいと思っています。

現在飯田病院から内科医師を中心として平日の外来に派遣されて診療に当たっております。それぞれの医師が専門分野を持っておりますが、全人的な医療が継続出来るように対応しております。またいわゆる在宅支援診療所として在宅療養をされている患者さんの訪問診療や

往診にも積極的に関わっています。

病気や薬のこと、介護のこと、予防医療から終末期医療まで、地域医療の受け皿として広くご相談承ります。悩んだら先ずはお声掛け下さい。



千葉先生(前列中央右側)とスタッフの皆様

- 所在地 395-0303 下伊那郡阿智村駒場465
☎0265-43-4180
- 診療科目 内科、泌尿器科
- 診療時間 8:30~12:00(金曜日午後は訪問診療体制)
- 休診日 土曜日、日曜日・祝日
- 往診 可
- 駐車場 あり



床ずれラックンのご案内

褥瘡(じょくそう)は、骨の出っ張り部分に体重が加わることにより生じる皮膚障害です。褥瘡対策では、マットレスの使用やクッションを用いて姿勢を整えることが基本になります。しかし、骨の出っ張りが著しい方や、腰が曲がっているために仰向けで寝られないような方、自身の動きによってクッションの位置がずれてしまう方、息苦しさや痛みなどの病状によって限られた姿勢しか保つことのできない方では、褥瘡対策が難しい場合があります。そこで、私たち褥瘡対策チームでは、(株)ウイステリアさんの協力のもと、身体に着ける褥瘡予防用具(床ずれラックン®)を考案しました。本製品は、ウレタンクッションが入った袋帯を体に巻き付けることで、骨の出っ張り部分にかかる圧力を和らげるもので、お尻用と腰用(背中用)の2種類があります。現在、褥瘡の痛みでお困りの方や褥瘡を繰り返す方などの一助となれば幸いです。ご不明な点は、お問合せ下さい。

担当：褥瘡対策チーム 皮膚・排泄ケア認定看護師 沢柳まで

登録医紹介

登録医とは共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。

山岡整形外科

(飯田市北方)



リンゴの丘の整形外科

山岡整形外科 院長 山岡 清明

山岡整形外科は2011年4月に、笠松山近く飯田市北方のリンゴ畑の多くある山麓線沿いの斜面に開院いたしました。おかげさまで、今年で8年目を迎えることができました。赤い屋根に風見鶏と煙突が目印の、整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科の医院です。

高知県の出身で、海を見ながら育ちましたが、信州大学への進学を機に、飯田でお世話になることとなり、現在は山と緑に囲まれて過ごしております。

当院のある伊賀良方面からは、赤石山脈がきれいに見えます。当院のリハビリ室の窓からも、雄大な赤石山脈を眺めることができ、四季の山々の表情が変わる風情が楽しめます。待合室では、冬になると薪ストーブに火が入り、柔らかな暖かさを体験していただけます。また、靴を履きか

えることなく受診していただけるフロアですので、杖をついたままで受診していただけます。ベビーカーやシルバーカーもご利用いただけるようになっております。

この地域の方々は、高齢でもお仕事をされている方や、スポーツや山登りを楽しんでいる方が多く、肩や膝、腰の痛みを感じながらも、毎日頑張っておられます。年齢を重ねても生き生きと活動される、そんな皆様のお役に立てるようにと、運動療法に力を入れ、来院を通して老化や障害によりお仕事や趣味など控えていた方も、長く現役で頑張れるようなお手伝いをさせていただきたいと考えてお

ります。

診療の中で、詳細な検査や手術をご希望の方、高度な治療が必要な場合には、ご希望の地域の連携病院に紹介させていただいております。

微力ではございますが、高齢化が進む医療過疎地域で診療する医院の一つとして、地域の皆様のお役に立てるよう、スタッフ一同努力してまいります。



山岡先生(前列中央)とスタッフの皆様

所在地 〒395-0151 飯田市北方1742-1

☎0265-48-5439

診療科目 整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科

診療時間 8:30~12:30 / 14:30~18:30

休診日 木曜日午後 土曜日午後 日曜日・祝日

駐車場 あり



床ずれラックン(お尻用)



床ずれラックン(腰用)

受けていますか?『人間ドック』



がん・心疾患・脳血管疾患は3大疾病と言われ、日本人の死因の半分以上を占めています。最近では医療技術の進歩により、がんなどでも早期に治療すれば完治するものも多くなってきました。



生活習慣病やがんをはじめとするからだの異常の早期発見に大きな威力を発揮するのが「人間ドック」です。人間ドックは、通常の健診より検査項目が多く、さまざまな角度から総合的にからだの異常を調べることができるメリットがあります。

早期発見・健康増進のためにも、1年に1度の人間ドックをお勧めします。

●人間ドックのご案内

日帰り人間ドック

毎週 月～金

日帰りコース……………46,440円

基本的な検査項目により、生活習慣病や、がんの健診を行います。

日帰り+脳ドックコース……75,520円

日帰りコースに、脳ドックを加えた健診を行います。

通院2日人間ドック

毎週 月～火・水～木

通院2日コース……………64,340円

日帰りコースに負荷心電図や腫瘍マーカー・糖尿病負荷試験を加え生活習慣病と「がん」の早期発見の健診を行います。

通院2日+脳ドックコース…93,420円

通院2日コースに、脳ドックを加えた健診を行います。

オプション検査

骨密度（腰椎）測定、ABI（動脈硬化）、PSA（腫瘍マーカー）、CA19-9（腫瘍マーカー）、CA125（腫瘍マーカー）、胸部ヘリカルCT、喀痰細胞診、子宮頸部がん、乳房X線検査・視触診、乳房超音波検査・視触診、ピロリ菌検査、甲状腺血液検査、視力・聴力、HIV（エイズ）
PET-CT（ドックの受診日とは別の日に検査を行います）

●お申込み

- 完全予約制です。随時受けをしていますが、お早めに予約をお願い致します。
- 受付時間内に、ご来院またはお電話でお申し込みください。
- 詳しくは飯田市立病院人間ドックのホームページをご覧ください。
- インターネット予約も始めました。上記のホームページをご覧ください。

●お問い合わせ

人間ドック室 TEL 0265-21-1255（内線2005）

受付時間：平日 9:00～16:00

飯田市立病院

検索

皆様の健康づくりをサポートします

大動脈瘤の新しい治療法

— ステントグラフト留置術の当院における続報 —

従来大きな手術が必要であった大動脈瘤の新しい治療法である、ステントグラフト留置術について、当院でも南信地方で初めて施行したことを春号でご報告しました。今回は、その後の経過についてご報告いたします。

ステントグラフト留置術とは、従来のように大きく胸やお腹を切り開かず、小さな創^{きず}からカテーテルを使って大動脈瘤を治療する方法です。ステントグラフト留置術につきましては、前回発行の春号にお書きいたしましたので、是非ご覧ください。

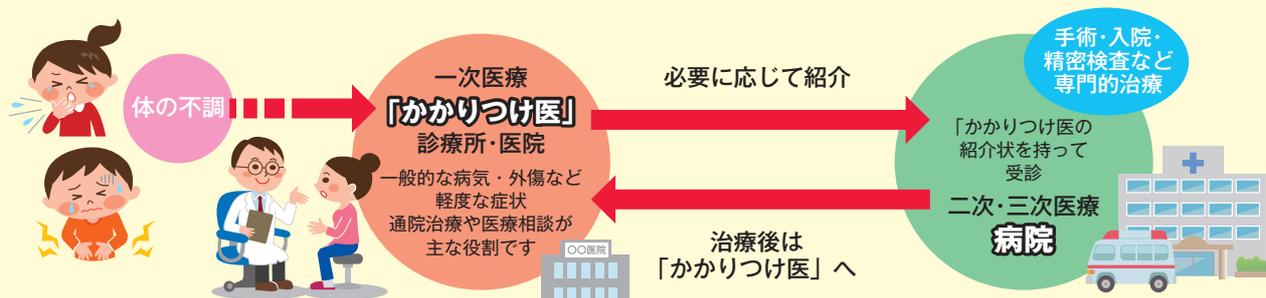
さて平成30年2月に、腹部大動脈瘤にに対してお一人目の治療を行って以来、続いて4月に胸部大動脈瘤の方にもこの手術を施行しました。以来、腹部6名、胸部4名の患者さんに対してステントグラフト留置術を施行してまいりました。まだ決して、多い数ではありませんが、この治療法についての適否をよく吟味し、患者さんとよく話し合った結果をふまえ最も良いと考えて治療方針を決定しています。今後は、この手術法の周知と共に手術数は伸びていくと見込んでいます。これまでのところ、緊急手術でなく予定を立てて行った患者さんに関しては目立ったトラブルもなく、皆さん順調で元気に退院しておられます。

初症例施行後これまでの間には、治療の難易度が大変高く、不意打ちでやってくる大動脈瘤の破裂の患者さんに対しても関係者一同が一丸となって対応しています。また、心臓血管外科の高橋医師は胸部腹部のステントグラフト留置術の施行資格に加え、より高度な指導医の資格も取得し県内の病院での指導的な手術も行っております。このように、心臓血管センター、麻酔科、手術部、放射線部、関連企業の皆さまの尽力のおかげもあり、当院の大動脈疾患に対する対応力は上がってきていると感じています。これからもさらに、地域の患者さんのためになれば幸いと考え一同努力してまいります。

飯田市立病院 からのお知らせ

当院は、救命救急センターにて24時間救急患者の受け入れをしています。また、地域医療支援病院として地域の医療機関との連携や役割分担を進めるため、外来診療では紹介患者さんを優先的に診療しています。専門的な検査や手術、治療に力を注いでいくためにも、紹介状を持参していただきますようご理解ご協力をお願いいたします。

◆体調の変化に気づいたら先ずお近くの「かかりつけ医」へ



◆私たち一人一人が地域医療を守る「当事者」という意識を

飯田下伊那地域は、医療資源の少ない地域です。住み慣れた地域で安心安全な医療を受けていくためにも、限られた医療資源を私たち一人一人が大切に守っていくという意識を改めて持つことが必要です。

地域内のそれぞれの医療機関が持つ役割と機能をよく理解し、症状に応じた適切な医療機関へかかる習慣を身につけましょう。

当院では、病状が安定している再来患者さんを地域のかかりつけ医(開業医)へご紹介しています。



情報カプセル



服用時間を守りましょう

薬を飲む時間は、主に「食前」、「食後」、「食間」、「頓服」に分けられます。

胃の中に何も無い状態の時に飲んだ方が効果的な薬は、「食前（食事の30分～1時間前）」に飲みます。「食後」とは、食事の後30分以内で、胃の中に食べ物が入っている時です。

「食間」は食事と食事の間のことです。食事の2時間後が目安です。食事の最中に薬を飲むことはありません。「頓服」は食後など決まった時間ではなく、発作時や症状のひどいときに薬を飲むことです。薬によって1日の服用回数や間隔が決められていますので注意が必要です。これ以外にも「食直前（食事の直前）」や「食直後（食事のすぐ後）」、「就寝前」、もっと厳密に何時と何時など飲む時間が決められている薬もあります。いずれにしても正しい飲み方をしないと効果がでなかったり、副作用が現れたりすることがありますので、決められた服用時間を守りましょう。

シリーズ ● 職場紹介 ● その58

【褥瘡対策チームの紹介】

近年、医療界では、褥瘡に対する注目は非常に高まってきています。

当院の褥瘡対策チームは医師、看護師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、薬剤師、臨床工学技士など、多職種で構成されており、毎週水曜日に回診を行っています。創の処置や姿勢管理・介助方法（ポジショニングや体位変換）、寝具の検討など、褥瘡治療やその予防を目的に活動しています。

急性期病院の在院日数の短縮化や在宅医療の推進により、在宅や介護施設などでの継続的な褥瘡ケアが必要となってきています。そこで私たちは、院内スタッフのみならず、地域の医療・介護施設の医療従事者も対象とした褥瘡に関する研修会を開催し、連携に努

めています。今後も飯田下伊那地域から褥瘡が少しでも減らせるよう、チーム一丸となって活動して参ります。日本褥瘡学会では、毎年10月20日は「床ずれ予防の日」としています。ぜひ皆様に褥瘡予防について知って頂ければ幸いです。



新任医師の紹介

平成30年7月1日～10月1日



産婦人科

長井 友邦

(ながい ともくに)
平成27年3月卒業
平成30年9月1日着任
前勤務病院
信大附属病院



脳血管内治療科

木内 貴史

(きうち たかし)
平成20年3月卒業
平成30年10月1日着任
前勤務病院
小林脳神経外科病院

あ と が き

特定健康診査、がん検診、人間ドックなどを受診して、要精密検査の結果が届いたら、早めに二次健診を受けるようにしたいものです。翌年の特定健康診査まで放っておくと、医療費の負担が大きくなるかもしれませんし、何より自分の体に大きな負担となるかもしれません。ご自身の体のためにも、早めの受診を心がけていただきと思います。

編集委員 唐沢 陽子